



なかよし



R4年 6月

市野谷つばさ保育園

園でお世話をしているメダカとカブトムシの幼虫たち。小さい子は指さして声をあげながらじっと見えています。大きい子たちは「ご飯あげていいかな?」「今(札が)こっち向いてるからお腹いっぱいだよ」と友だち同士で会話したり、土かえのお手伝いや水を霧吹きであげてくれるお友だちもいます。幼児期から小さな生き物や草花に触れるという自然体験は、本来人間が持っている五感を刺激し、好奇心を育み、感動を知り、豊かな感受性の発達を促すと言われていています。小さな命との触れ合いから一人ひとりさまざまなことを感じとってくれることを願いながら、子どもたちと一緒に生き物の成長を見守っていきたいと思います。



7日(火) 防犯教室・訓練	21日(火) 避難・消火訓練
8日(水) 歯科検診	22日(水) お誕生会
13日(月) 乳児身体測定	★各クラスで行います
15日(水) 幼児身体測定	29日(水) 交通安全教室

つくし組担任の
小宮明日香が
入籍し、
菊地明日香とな
りました。

7月6日(水)、引渡訓練(雨天延期)が行事予定で入っております。引渡時間は15:45~17:30までを予定しております。後日詳細に関しては園内掲示とホームページに掲載させていただきます。

子ども服の安全性って!?



子どもの衣服に関して、思いがけない子どもの事故が起きています。着ていた服のひもやリボン、ベルトやフードなどがドアや家具、遊具に引っかかって転倒したり宙吊りになったりすることで怪我や重大な事故につながってしまう恐れもあります。

子ども服のひもに起因する事故を防ぐために、子ども服のひもの安全基準に関する「JIS L4129(よいふく)」が経済産業省によって制定されています。強制力はありませんが、これによると

- ・頭や首回りから垂れ下がるひもはつけられない
- ・背中から出るひもはつけられない
- ・丈の長い上着やズボンのすそなど、股より下にすそがある場合、垂れ下がったひもをつけることはできないとなっていて、年齢やひもの場所に応じて長さの基準が決められています。

これらを踏まえ、園での洋服についても「かわいい!」「かっこいい!」や流行だけでなく「この服は安全かな?」と意識して選んでいただけたらと思います。

○洋服についている紐は取り除くか縫い付けをお願いします

ズボンのウエストや裾についている飾り紐やリボン等も含みます。

○体の大きさに合った服を選びましょう

長すぎたり、裾にフリルが付いてスカートのようにになっている洋服は遊具に引っかかったり、踏んで転倒の危険があります。

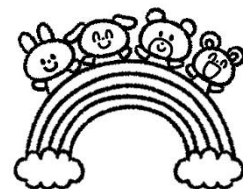
○その装飾大丈夫ですか

引っ張り、引っ張られ取れて誤飲につながらないかご確認ください。子どもたちは取れてしまったものを口に入れてしまう恐れもあります。

(引用: 経済産業省 政府広報オンライン)

《保育目標》

- すみれ組 ○生活リズムを整えながら、梅雨期を快適に過ごせるようにする。
○ずりばいや歩行が活発にできる環境を整え、発達を促す。
- つくし組 ○簡単な言葉やジェスチャーで自分の気持ちを伝え、それを受け止めてもらうことで安心して生活する。
○自分の気に入った遊びを見つけ、じっくり遊ぶ。
- たんぽぽ組 ○自分の思いを簡単な言葉で表現しながら、友だちと関わって遊ぶ。
○衣服の着脱を保育者の手を借りながらやってみようとする。
- ゆり組 ○身の回りの清潔に注意し、衛生管理を身につける。
○簡単なルールのある遊びを楽しむ。
- ばら組 ○簡単なルールのある遊びに親しみ、友だちとの関わりを深める。
○身近な自然や生き物を観察したり、凶鑑を見て興味を深める。
- ひまわり組 ○友だちとの関わりを深め、自分の思いを伝えたり相手の話を聞こうとする。
○梅雨の自然を知り、天気の変化や雲の動きなどに興味を持つ。



☆子育て支援だより☆

ゴールデンウィークなどの長期休暇も終わり、少しずつ保育園での生活も慣れてきた頃。子どもも大人も疲れがたまりやすくなってきます。そんな時、お子さんが「保育園行きたくない」となることはありませんか？今回は子どもの行き渋りについてご紹介していきます。

子どもが行き渋りをする理由はいくつかあると考えられます。保護者の方と離れるのが寂しい場合、休み明けや体調不良、環境の変化、園生活での不安や苦手があるなどなど、、、子どもによって様々なものが考えられます。ただでさえ慌ただしい朝に「行きたくない」と言われてしまうとどうしたら良いかわからず困ってしまいますよね。登園を渋る子どもについての対応は年齢にもよると思われます。乳幼児～2歳頃までの子どもの場合、分離不安があって当然の年齢です。この年齢では、声掛けで説得するのは難しいことも多いので、子どもの気持ちをしっかりと受け止めながら、毎日保育園で頑張ってくれてありがとうや大好きだよと気持ちを伝えながらぎゅーっと抱きしめてあげるなどの方法があるそうです。3歳以上になってきたら、少しずつ保護者の方と離れることに慣れ、保育園は「何か楽しみが待っている場所」であることを言葉でも伝えていけると良いですね！保育園への登園の道中しかできないお楽しみのゲームを設定する、保育園で楽しい活動や大好きなお友だち、先生の話をしてみる等も良い場合があるそうです♪登園を渋ることについては、多くの保護者の方が経験されると思います。泣いている子どもを見ると保護者の方も辛い気持ちになりますよね。しかし、行き渋りはいずれ終わりがやってきます。一人で悩まず、気軽に担任や職員にいつでもご相談ください！一緒に考えていきたいと思えます♪

☆保護者の方の対応教えてください！！☆

登園の行き渋りについて、保護者の方が行っている対応や成功例などを教えてください！先輩ママパパさんの意見を是非参考にさせて頂き、掲示させていただきたいと思えます！

たくさんの保護者の方にご協力いただきますと幸いです！よろしくお願ひ致します！

投稿方法➡市野谷つばさ保育園ホームページ内の問合せフォーム、又はお悩み相談BOX

(問い合わせフォームから投稿される場合、名前はニックネーム等がかまいません)

投稿についてご不明な点がございましたら、職員までお声がけください。